サポート情報記事

List Filter Online のフィルター ペイン コントロールとサポートされる列の種類

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

フィルター ペインを構成する 4

フィルター コントロール 7

テキスト 7

テキスト (オプション付き) 8

ドロップダウン 8

ドロップダウン (複数の値) 8

日付ピッカー 9

日付範囲 9

相対日付 9

ユーザーまたはグループ 10

用語 11

数値範囲 11

はい/いいえ 11

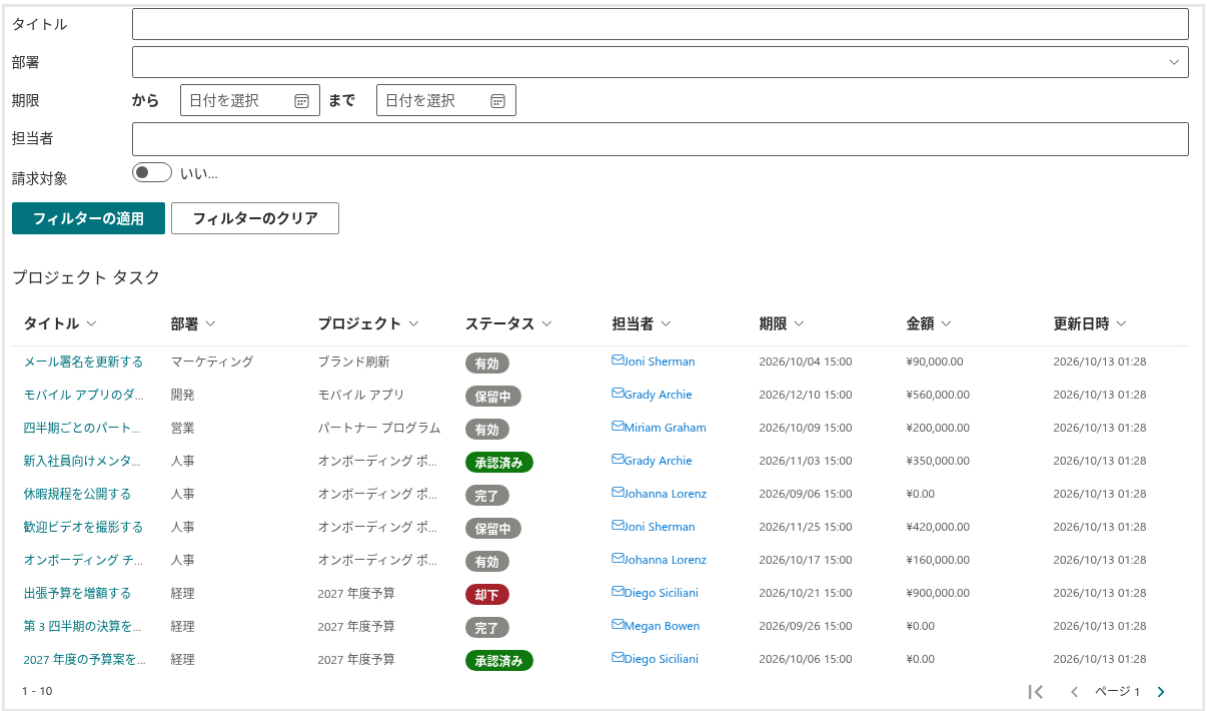
列の種類と使用可能なコントロール 12

用語 14

はじめに

フィルター ペインは、List Filter Online の中でエンド ユーザーが最もよく目にする部分です。管理者がリストの中から絞り込みに使用する列を選び、それぞれにコントロールを割り当てます。ユーザーは、**CAML** を入力したり、複数の列メニューを次々に開いたりする代わりに、ドロップダウン、日付ピッカー、ユーザー ピッカー、スライダーを使ってリストを絞り込みます。

この記事は、そのペインのリファレンスです。プロパティ ペインで列とコントロールを選択する方法、各コントロールの外観と動作、各コントロールについて Web パーツが **SharePoint Online** に送信する比較、そして **SharePoint** の列の種類ごとに提供されるコントロールについて説明します。Web パーツの一般的な構成については、KB10201. List Filter Online Web パーツの構成で説明しています。



複数のコントロールがあるフィルター ペイン

フィルター ペインを構成する

フィルター ペインは、プロパティ ペインの **フィルター ウィンドウ** グループで構成します。このグループには、3 つのトグルと列の構成ツールがあります。

- **フィルター ウィンドウ** - ページ上のペインの表示と非表示を切り替えます。ペインに列が選択されていない場合も、ペインは自動的に非表示になります。
- **カスケード フィルター** - ペイン内の他のコントロールで選択したフィルターに応

じて、ドロップダウン コントロールの値リストを絞り込みます。KB10256. カスケード フィルター: 選択済みの他のフィルターによるドロップダウン オプションの絞り込みを参照してください。

- ユーザーの前回のフィルターを記憶する - ユーザーが前回の訪問時に適用したフィルターを復元します。KB10253. List Filter Online でフィルターを保存し、フィルター済みビューのリンクを共有するを参照してください。
- 選択された列 - 現在ペインに含まれている列 (または 選択されていません) の一覧と、それに続く、構成ツールを開く 列の選択 ボタン。



プロパティ ペインの フィルター ウィンドウ グループ

列の選択 ボタンをクリックすると、列 パネルが開きます。このパネルには、選択したリストまたはライブラリの列のうち、SharePoint がフィルター可能としているすべての列が一覧表示されます。ただし、システム列と、マネージド メタデータ列に付随する非表示のテキスト列は除きます。各行には次のフィールドがあります。

フィールド	用途
表示	列をフィルター ペインに含めるチェック ボックス。パネルを開き直すと、選択した列は一覧の先頭に移動します。

フィールド	用途
列	リスト内の列の名前。5,000 項目を超えるリストでは、インデックスが作成されていない列の横に警告アイコンが表示されます。KB10257. 大規模リストのフィルター処理: インデックス付き列と 5,000 アイテムのしきい値を参照してください。
列の種類	列の SharePoint での種類 (参考情報)。
キャプション	ペインのコントロールの上に表示されるラベル。既定では列名です。ユーザーがそのデータを別の名前で認識している場合や、列名がペインに対して長すぎる場合に変更します。
フィルターの種類	列に使用するコントロール。一覧には、列の種類に適したコントロールのみが表示されます (下の対応表を参照)。既定のコントロールも種類によって異なります。
順序	ペイン内のコントロールの位置 (数値)。新しい番号を選択すると、列がその位置に移動し、他の列の番号が振り直されます。

保存 を押すと選択内容が Web パーツに適用されます。キャンセル を押すと、変更せずにパネルが閉じます。チェックを付けていない列は保存されないため、チェック　ボックスをオフにすると、その列に対して選択したキャプションとコントロールも破棄されます。



フィルター ペインの列の構成ツール

メモ

ペインで設定したフィルターは、ユーザーが **フィルターの適用** をクリックしたときに有効になります。コントロールを変更しただけでは、リストは再読み込みされません。**フィルターのクリア** は、すべてのコントロールをリセットし、ユーザー フィルターなしでリストを再読み込みします。ペインの条件は、相互に、また管理者が **フィルター** グループで作成した事前定義フィルターとも、AND で結合されます。適用された条件は、結果の上にフィルター チップとして表示され、各チップには個別のクリア ボタンがあり、**すべてのフィルターをクリア** リンクも表示されます。

フィルター コントロール

以下のセクションでは、**フィルターの種類** の一覧から選択できる各コントロールについて、ユーザーに表示される内容、値の入力方法、Web パーツが CAML クエリに設定する比較を説明します。CAML の要素名 (`Eq`、`Contains`、`In`、`Geq` など) は、開発者モードの **CAML クエリ** ダイアログでクエリを確認する管理者や、Query Builder で事前定義フィルターを作成する管理者のために記載しています。

テキスト

1 つのテキスト ボックスです。ユーザーが値の一部を入力します。比較は、入力したテキストによる **次の値を含む** (**Contains**) です。これは、テキスト、数値、通貨、参照、ハイパーリンク、計算値、ID の各列の既定のコントロールです。**Contains** は列のインデックスを使用できないため、大規模なリストでは別のコントロールを使用してください (KB10257 を参照)。

テキスト (オプション付き)

演算子のドロップダウンと、それに続くテキスト ボックス (最大 300 文字) です。演算子は、**次の値を含む** (**Contains**)、**次の値と等しい** (**Eq**)、**次の値と等しくない** (**Neq**)、**次の値で始まる** (**BeginsWith**)、**より大きい** (**Gt**)、**以上** (**Geq**)、**より小さい** (**Lt**)、**以下** (**Leq**)、**データを含まない** (**IsNull**)、**データを含む** (**IsNotNull**) です。最後の 2 つの演算子は値を必要としないため、テキスト ボックスは表示されなくなります。既定の演算子は **次の値を含む** です。テキスト ボックスが空の演算子では、条件は追加されません。



テキスト コントロールと テキスト (オプション付き) コントロール

ドロップダウン

列から読み込んだ値のドロップダウン リストです。要求では現在のフォルダーが考慮され、**カスケード フィルター** が有効な場合はウィンドウ内の他の条件も考慮されます。値を選ぶと **Eq** 条件になります。このコントロールは固定コマンドの **(すべて)**、**データを含む**、**データを含まない** を追加しません。選択を解除するには **フィルターのクリア** を使用します。選択肢列の既定のコントロールです。

ドロップダウン (複数の値)

複数の値をオンにできるコンボ ボックスです。選択した値は、ボックスにコンマ

区切りで表示されます。条件は **In** (`Values` リストを持つ `In`) であるため、列にオンにした値のいずれかが含まれている項目が一致します。値リストの読み込みと絞り込みは **ドロップダウン** の場合と同じです。固定項目の **(すべて)**、**データを含む**、**データを含まない** は、ここでは表示されません。

日付ピッカー

演算子のドロップダウンと、日付が必要な演算子の場合はカレンダー　ピッカーです。カレンダー　ピッカーは、サイトの地域設定の日付形式と週の開始曜日に従います。演算子は、**データを含む** (`IsNotNull`)、**データを含まない** (`IsNull`)、**指定日** (`Eq`)、**指定日以外** (`Neq`)、**以降** (`Geq`)、**後** (`Gt`)、**以前** (`Leq`)、**前** (`Lt`) です。日付は時刻部分なしで送信されるため、比較は日単位で行われます。

警告

既定では **任意の日付** が選択され、条件は追加されません。演算子または期間を選び、必要な値を入力して **フィルターの適用** をクリックします。保存済みプリセット、リンク、前回の訪問から復元されたフィルターによって、この初期状態が置き換わることがあります。

日付範囲

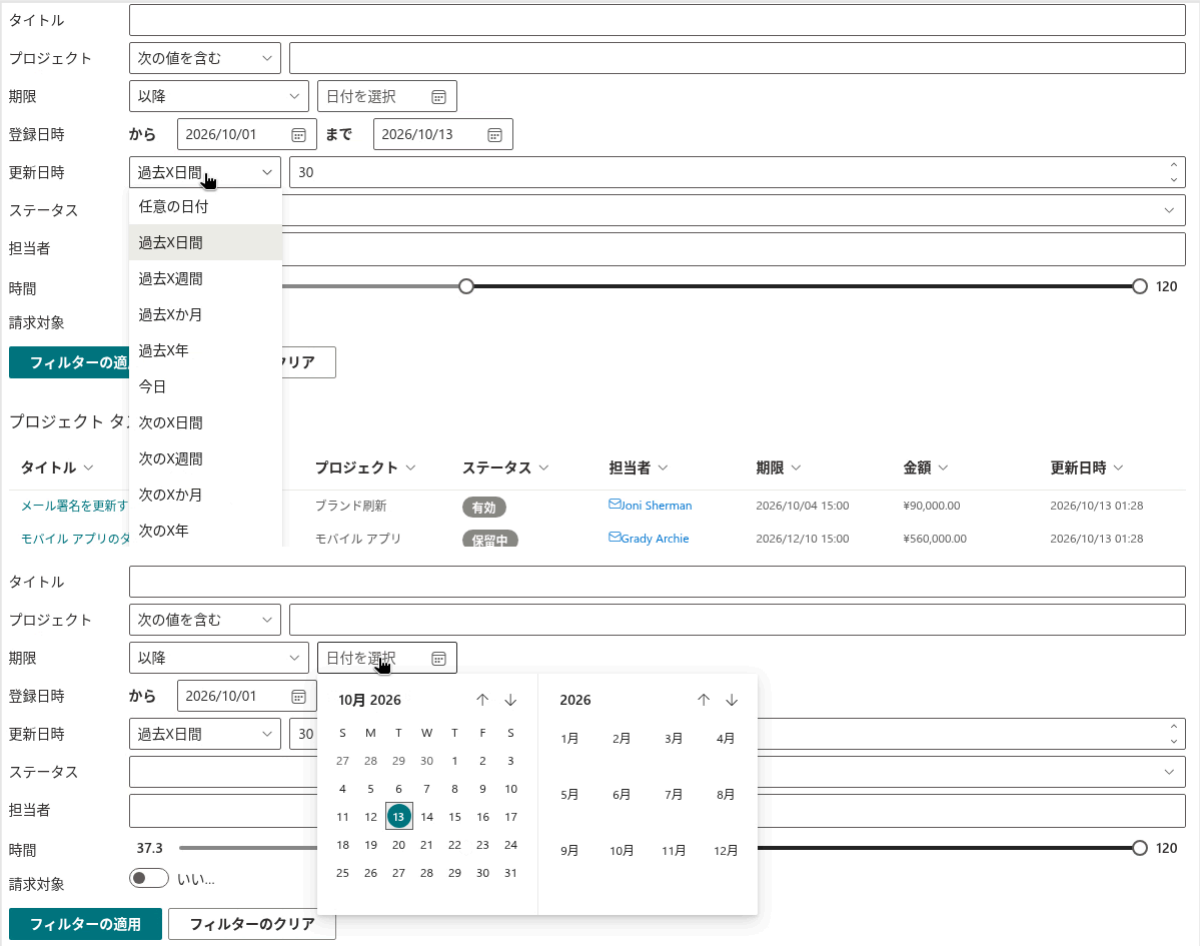
開始日 と **終了日** というラベルが付いた 2 つのカレンダー ピッカーです。どちらも空のままにできます。開始日は **後** (`Gt`)、終了日は **前** (`Lt`) になります。どちらの境界も排他的であるため、**開始日** または **終了日** の日付ちょうどの項目は含まれません。それらを含めるには、ユーザーが 1 日前または 1 日後の日付を選択する必要があります。ピッカーでは、開始日より前の終了日は選択できません。これは日付と時刻の列の既定のコントロールで、日付が選択されるまで条件は追加されません。

相対日付

現在の日を基準とした期間のドロップダウンと、それに続く、必要な期間の場合は数値ボックスです。期間は、**過去X日間**、**過去X週間**、**過去Xか月**、**過去X年**、**今日**、**次のX日間**、**次のX週間**、**次のXか月**、**次のX年**　です。**今日**　は、CAML　の `<Today />` 値を持つ `Eq` になります。その他の期間は、計算された境界日と今日との間の 2 つの比較 (`Geq` と `Leq`) の組になります。数値は最大 1,000 まで指定で

きます。

> **メモ**
>
> 既定では **任意の日付** が選択され、条件は追加されません。演算子または期間を選び、必要な値を入力して **フィルターの適用** をクリックします。保存済みプリセット、リンク、前回の訪問から復元されたフィルターによって、この初期状態が置き換わることがあります。



日付ピッカー、日付範囲、相対日付 コントロール

ユーザーまたはグループ

コンパクトなユーザー　ピッカーです。ユーザーは名前の一部を入力し、**ユーザーの候補**　の一覧からユーザーを選択します。ピッカーはサイトのユーザーを検索します。単一値のバリアントでは 1 人を選択でき、**ユーザーまたはグループ (複数の値)**　では最大　20　人を選択できます。条件は、ユーザー　ID　(`FieldRef LookupId="TRUE"`) に対する `In` であるため、複数値の列は、選択したユーザー

のいずれかが含まれている場合に一致します。ユーザーまたはグループ列では、複数値のバリアントが既定で使用されます。

> メモ
>
> ピッカーが候補として表示するのはユーザーのみです。列がグループを許可していても、フィルター ペインでは SharePoint グループや **Microsoft 365** グループを選択できません。グループ名でそのような列をフィルター処理するには、代わりに **ドロップダウン** または **テキスト** コントロールを割り当ててください。

用語

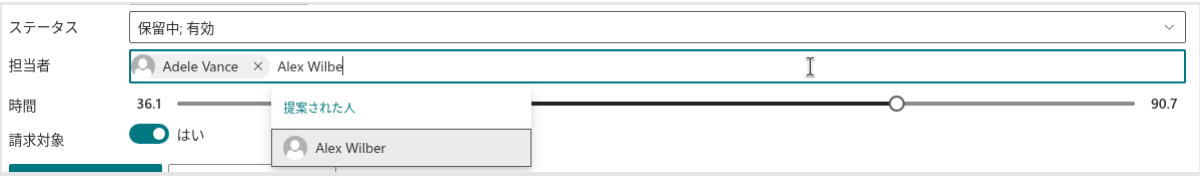
マネージド メタデータ列用のタグ ピッカーです。ユーザーは用語ラベルの一部を入力し、列にバインドされた用語セットから用語を選択します。非推奨の用語は候補に表示されません。**用語** は 1 つの用語を受け入れ、用語ラベルによる **次の値を含む** (`Contains`) になります。**用語 (複数の値)** は最大 20 個の用語を受け入れ、ラベルによる `In` になります。これは、マネージド メタデータ列の既定のコントロールです。

数値範囲

2 つのハンドルがあるスライダーです。ペインの読み込み時に、Web パーツはリスト内 (現在のフォルダー内) の列の最小値と最大値を読み取り、それらをスライダーの両端として使用します。ステップは、整数列では 1、その他の数値と通貨では 0.1 です。ハンドルを動かすと、下限値には **以上** (`Geq`)、上限値には **以下** (`Leq`) が、列の種類に応じて生成されます。

はい/いいえ

はい と **いいえ** のラベルが付いたトグルです。条件は、`1` または `0` による **次の値と等しい** (`Eq`) です。操作していないトグルは条件を追加しません。ユーザーが一度切り替えると現在の位置が送信されるため、**いいえ** に戻すと、フィルターが解除されるのではなく、値が「いいえ」の項目に絞り込まれます。**フィルターのクリア** で条件が削除されます。これは、はい/いいえ列と **添付ファイル** 列の唯一のコントロールで、添付ファイル列では 「はい」は「添付ファイルあり」を意味します。



ピッカー、スライダー、トグルのコントロール

列の種類と使用可能なコントロール

構成ツールの **フィルターの種類** の一覧には、SharePoint の列の種類ごとに次のコントロールが表示されます。太字のコントロールが既定です。

列の種類	使用可能なコントロール
1 行テキスト、タイトル (Title)	**テキスト**、テキスト (オプション付き)、ドロップダウン、ドロップダウン (複数の値)
複数行テキスト	表示されません - SharePoint では、この列の種類によるフィルター処理は許可されていません
選択肢 (単一選択および複数選択)	テキスト、テキスト (オプション付き)、**ドロップダウン**、ドロップダウン (複数の値)
数値、通貨	**テキスト**、テキスト (オプション付き)、数値範囲
日付と時刻、作成日時、更新日時	日付ピッカー、**日付範囲**、相対日付
はい/いいえ	**はい/いいえ**
ユーザーまたはグループ (単一および複数)、作成者、更新者	ユーザーまたはグループ、**ユーザーまたはグループ (複数の値)**、テキスト、テキスト (オプション付き)、ドロップダウン、ドロップダウン (複数の値)
参照 (単一および複数)	**テキスト**、テキスト (オプション付き)、ドロップダウン、ドロップダウン (複数の値)

列の種類	使用可能なコントロール
マネージド メタデータ (単一および複数)	テキスト、テキスト (オプション付き)、用語、用語 (複数の値)、ドロップダウン、ドロップダウン (複数の値)
ハイパーリンクまたは画像	テキスト、テキスト (オプション付き)
ID	テキスト、テキスト (オプション付き)
添付ファイル	はい/いいえ
計算値	テキスト、テキスト (オプション付き)、ドロップダウン、ドロップダウン (複数の値)
承認ステータス	ドロップダウン, ドロップダウン (複数の値)
いいね、評価の列	テキスト

その他の種類の列 (コンテンツ タイプ ID、GUID、ワークフロー列、スレッド列) は、SharePoint がフィルター可能としている場合に一覧に表示されることがありますが、その フィルターの種類 の一覧は空であり、選択しないでください。複数の値を持つ列 (複数選択の選択肢、複数値の参照、複数選択のユーザーまたはグループ、複数値のマネージド メタデータ) には、単一値の対応する列と同じコントロールが提供されます。いずれかの値が条件を満たしている場合、その項目は条件に一致します。

警告

5,000 項目を超えるリストやライブラリでは、インデックスのない列でフィルター処理するクエリを SharePoint が拒否することがあります。構成ツールは、そのような列に警告 (「列にインデックスがありません。この列で大規模なリストをフィルター処理すると、機能しない場合があります。」) を表示し、その場でインデックスを作成できるようにします。インデックス、しきい値、関連する設計ルールについては、KB10257. 大規模リストのフィルター処理: インデックス付き列と 5,000 アイテムのしきい値で説明しています。

用語

CAML

Collaborative Application Markup Language (CAML) は、SharePoint で、リスト、ドキュメント ライブラリ、ビュー、コンテンツ タイプ、フィールド、データ レンダリング要素などのデータ定義オブジェクトを定義するために使用される、大文字と小文字を区別する XML ベースの言語です。たとえば、CAML を使用して、リストやライブラリからデータをフィルター処理して取得するクエリを作成できます。

Microsoft 365

Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

SharePoint Online

SharePoint のクラウド版で、Microsoft 365 内の Web ベースのコラボレーション プラットフォームです。組織のデジタル情報、コンテンツ、ナレッジを保存、共有、管理するための幅広い機能を提供します。

コンテンツ タイプ

ドキュメントやリスト アイテムなど、特定のカテゴリの情報を定義する、再利用可能な設定とメタデータのコレクションです。メタデータ フィールドとドキュメント テンプレートが含まれており、リストやライブラリ全体で類似するアイテムを一貫して管理および整理できます。